

研修(講座)名	社会教育委員・担当者共に学ぼう！研修				
期日	令和7年12月4日(木)	時間	10:00～15:45		
会場	あすてらす	参加者数	85名		
ねらい	<p>・社会教育委員に求められる力と社会教育行政における担当者の役割について、講義と実践発表、演習等をとおして互いに学び合い、理解を深める。</p> <p>・社会教育委員、行政担当者としての立場において相互に連携し、理解を深め合い、ともにより良い実践をしようとする意欲を高める。</p>				
研修プログラム	【開講行事】	開会あいさつ・日程確認・事務連絡			
	【講義】	<p>「社会教育委員と担当者に期待すること」</p> <p>大正大学 地域創生学部 教授 牧野 篤さん 東京大学 名誉教授</p>			
	【実践発表】	<p>「地域で活躍する安来市社会教育委員」</p> <p>安来市社会教育委員の会 会長 足立 智美さん 安来市市民生活部地域振興課 主任主事 福島 陸太郎さん</p>			
	【演習】	「未来を見据え、学びを動きにつなげる『社会教育委員・担当者』をめざして」			
	【全体講評】	大正大学 地域創生学部 教授 牧野 篤さん 東京大学 名誉教授			
研修の様子	 <p>【開講行事】</p>  <p>【講義】</p>  <p>【実践発表】</p>				
	 <p>【演習】</p>  <p>【演習】</p>  <p>【全体講評】</p>				
	<p>■牧野先生の講義は、社会的な背景や、統計など根拠をつなげて社会教育を語られ、興味深かった。実践発表も他市町でどんな取組をされているのか分かり参考になった。今後の活動に活かせるとよいと思う。(社会教育委員)</p> <p>■心に残ったキーワードは、“AAR”“ふるさと”“ウェルビーイング”です。『AARを心がけ、ふるさとを目標に、ウェルビーイングを目的に』と思った。(社会教育委員)</p> <p>■社会教育委員と担当者の方々が一堂に会する研修は貴重で、横のつながりをつくる良い機会となったと思う。特に演習では、それぞれの現場の課題感を共有でき、有意義な研修になった。(社会教育委員)</p> <p>■全体講評の中での言葉が印象に残った。一緒に悩むこと(見捨てられない)、伴走支援していく、これがまさに社会教育に必要なことだと思った。まわりにいつも居るよという存在になりたいと思う。(社会教育委員)</p> <p>■演習の時間で他市の担当の方々とそれぞれの情報共有ができる、自分の市でもこれはできるかも、というヒントを得られた。また、社会教育委員の皆さんとのシートのそれぞれの想いにも触れることができ、担当者として、その想いを実現できるよう動いていきたいと思う。(行政担当者)</p> <p>■講義では、100年時代が印象に残り、だからこそこれからどう生きるか何のために生きるか(ウェルビーイング)が重要になってくると感じた。安来市は、地域から「動ける人」を推薦してもらうからこそ、よく活動ができるのだなと分かった。(派遣社会教育主事)</p> <p>■あらためて、社会のインフラとして重要なことが社会教育であると認識した。本日の深い学びとつながりを今後の現場での実践に活かします。(公民館等職員)</p>				